

登録有形文化財（建造物）

旧陸軍歩兵第四四連隊弾薬庫及び講堂保存活用計画

令和 8 年 3 月

高知県



口絵1 弾薬庫東面外観



口絵2 弾薬庫内観



口絵3 講堂西面外観



口絵4 講堂内観

例 言

1. 本書は、令和6年7月から令和7年8月にかけて作成した登録有形文化財（建造物）旧陸軍歩兵第四四連隊弾薬庫及び講堂に関する保存活用計画である。
2. 編集にあたっては、文化庁の『文化財保護法に基づく保存活用計画の策定等に関する指針』に基づき、計画の概要、保存管理計画、環境保全計画、防災計画、活用計画、保護に係る諸手続をまとめた。
3. 『登録有形文化財（建造物）旧陸軍歩兵第四四連隊弾薬庫及び講堂保存活用計画』策定関係者名簿
 - (1) 登録有形文化財（建造物）旧陸軍歩兵第四四連隊弾薬庫及び講堂保存活用計画策定委員会
委員 長 三浦 要一（高知県立大学文化学部 学部長）
副委員長 高岩 裕也（東洋大学理工学部建築学科 准教授）
委員 溝渕 博彦（株式会社 AREA 代表取締役）
事務局 中内 勝（高知県歴史文化財課 課長）（～令和7年3月）
山崎 昌宏（高知県歴史文化財課 課長）（令和7年4月～）
吉村 孝洋（高知県歴史文化財課 課長補佐）
下村 裕（高知県歴史文化財課 チーフ）
松本 大介（高知県歴史文化財課 チーフ）（～令和7年3月）
北山 夏希（高知県歴史文化財課 主幹）
 - (2) 指導・助言
文化庁文化財第二課
 - (3) 策定支援
株式会社文化財保存計画協会（代表取締役 矢野 和之）
主任研究員 巨銀 俊介
技術員 成 浩源
4. 本文（図版、表を含む）では、大蔵省印刷局（平成13年1月5日まで）、財務省印刷局（平成13年1月6日から平成15年3月31日まで）、独立行政法人国立印刷局（平成15年4月1日以降）を統一して「印刷局」と表記した。
5. 年号は、原則として和暦表示とし、西暦は必要に応じて（ ）内に併記した。
6. 主要参考文献
 - (1) 『旧陸軍歩兵第44連隊弾薬庫等調査報告書』高知市教育委員会、2016
 - (2) 「旧陸軍歩兵第44連隊講堂耐震診断報告書」株式会社文化財保存計画協会、2022

位置図



図 0.1.1 旧陸軍歩兵第四四連隊弾薬庫及び講堂位置図 (国土地理院地図を加工して作成)

目次

口絵
例言
位置図
目次

第1章 計画の概要	1
第1節 計画の作成	1
第2節 文化財の名称等	1
第3節 文化財の概要	1
第4節 文化財保護の経緯	10
第5節 保護の現状と課題	11
第6節 計画の概要	12
第2章 保存管理計画	17
第1節 保存管理の状況	17
第2節 保護の方針	27
第3節 管理計画	39
第4節 修理計画	39
第3章 環境保全計画	41
第1節 環境保全の現状と課題	41
第2節 環境保全の基本方針	42
第3節 区域の区分と保全方針	42
第4節 建造物の区分と保護の方針	43
第5節 防災上の課題と対策	46
第4章 防災計画	47
第1節 防火・防犯対策	47
第2節 耐震対策	48
第3節 耐風対策	49
第4節 その他の災害対策	50
第5章 活用計画	53
第1節 公開その他の活用の基本方針	53
第2節 公開計画	53
第3節 活用基本計画	54
第4節 実施に向けての課題	57

第6章 保護に係る諸手続	59
第1節 保護に係る諸手続	59
第2節 現状を変更しようとしている場合の手続	59
第3節 届出を要しない行為	60
第4節 本計画の改正	60
資料編	61
写真資料	61
文献資料	73